

**SENSHU UNIV.**

**GLEE CLUB**

**24th**

**REGULAR**

**CONCERT**

**1988**



神田校舎

## 専修大学校歌

作詞 高野辰之  
作曲 信時潔

一、宮城の北 枢地に立ちて

礎固し 我等が大学

質実な姿 真摯な心

学徒幾千 理想に生きて

濟世の道 ここに学び

経綸の策 ここに究む

二、鳳の翼 両手に開き

世に魁けし 我等が大学

剛健の意気に 力行の勇に

学徒幾千 希望に生きて

常久の富 ここに萌し

限りなき幸 ここに芽ぐむ

我等が行く道 磐石なせり

我等が行く手は 光に充てり

## エール専修

作詞 秋山重剛  
作曲 片山正見

若き生命を飾る 勝利の讃歌

母校の旗へ 捧げてここに

覇者の名をつぐ 専修我等

精鋭無双の 力をこぞり

怒濤の歩みを 進めるところ

栄光さんたる 我等が行く手

専修 専修

鳳 専修

# 専修大学グリークラブ 第24回 定期演奏会

1988年12月5日(土)  
日本都市センターホール



第23回定期演奏会(日本都市センターホール) 撮影 テス飯島舞台写真

## ごあいさつ

本日はお忙しい中、私共専修大学グリークラブ第24回定期演奏会にご来場頂きまして誠にありがとうございます。

皆様方の温かいご支援により私共も創立25周年を迎えるに至りました。創立以来、合唱を通して部員相互の「心と心のつながり」を大切にし常に「歌うよろこび」を求めて活動してまいりました。

今年は幸運なことに東京理科大学・愛知学院大学グリークラブという良きパートナーと廻り会い、共に切磋琢磨できる機会に恵まれました。また、山形県温海町での演奏会では、小・中学校の生徒達と一緒に「歌う楽しさ」を肌で感じ合うことができました。そのような意味で25年を迎えたクラブにとって節目の年でした。

今宵は、その様な節目の年の最後を飾るステージを最後までご鑑賞いただき、楽しいひとときを過ごして頂ければ幸いと存じます。

最後になりましたが、本日の演奏会を開催するにあたり大変お世話になりました諸先生方・並びにOB諸兄・関係各位・ご来場の皆様に厚く御礼申し上げます。

部員一同

## 専修大学学長・理学博士 小田切美文



グリークラブの諸君。第24回定期演奏会開催の運びを心から喜んでおります。グリークラブ今日までの歴史をうかがいますと、国際感覚の体験にも恵まれた素晴らしいクラブ活動だと感心しております。学術文化会の一翼を担って、合唱の喜びと美と協調の世界を学生生活に浸透反映させようとする精神と努力は、まことに現代の若者らしい発想の美りかと思っております。

しかも、今回その実績を定期演奏会として学内外の多くの人達に披露するというのは、まことに要を得ており、本学の学生諸君にはぜひ共身近なものとして知らせ、積極的に参加声援していただきたいものです。

どうかクラブの諸君も、更に更に努力を積み重ねて新しい美の感覚を生み出し、多くの仲間とその喜びを分かち与えて下さることを希っております。

## グリークラブ名誉顧問 早坂禮吾



お正月がくると雑煮を食べる。誕生日の秋には栗赤飯を食べる。そのうち、お雑煮を食べるとお正月になり、栗赤飯を食べると誕生日を思う。専修大学グリークラブの定期演奏会も、毎年師走に行われて24回になるので、定演のプログラムに向うと、今年も暮れるなという思いでしみじみとする。第一回の定演でおおおした頃、今この舞台で歌っている学生たちは、誰も未だ生れてはいなかったのだと思うと、ここでも歴史の重みについて考えさせられる。

さて、今年の出来はどうだろうか……と会場の皆様と一緒に考えるのも例年のこととなった。学生の音楽は、その出発点がズブの素人だから、必ずしも最高の水準とはいえないかも知れない。しかし、4年間の精進の、速度と量とは、これも例年のことながら驚くほどのものがある。学生芸術のよさは、その学生生活の一切を覆う情熱と傾倒とにある。今年も、終ってから独り感動の涙にむせぶような、真摯な精進のあとを聞かせてもらいたいものである。

## 専修大学経済学部教授・グリークラブ顧問 鶴田俊正



専大グリーが誕生した1963(昭和38)年は、東京オリンピックの前年に当たる。東京はオリンピックのための建設工事があちこちで行われていた。国立競技場をはじめ各種の競技施設やホテルの建設、首都高速道路の新設・一般道路の整備などがそれで、東京の表情は日々刻々変っていった。新幹線が東京―大阪間で開通したのもグリー誕生の翌年であった。日本は東京オリンピックを堺にして世界に大きく羽ばたいていった。グリーの歴史はその後の日本と共に歩んだ。多くの先輩たちの努力が今日のグリーの基礎にある。今日は四分の一世紀を生きたグリーのお祝いの日である。佐藤敏直さんがグリーのために曲をつくって下さった。敏直さんの新曲が大きな利財となって、いっそう大きなグリーに成長することを期待したい。

専修大学グリークラブ常任指揮者 岡本 仁<sup>じん</sup>

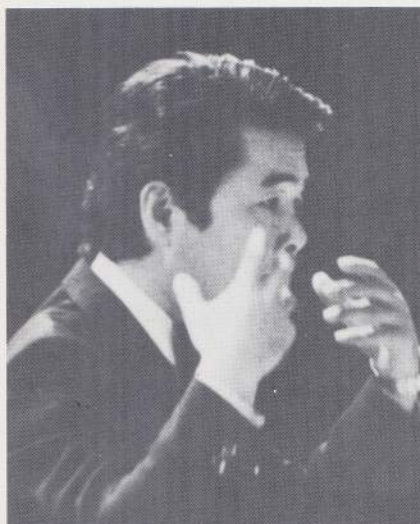


### 楽しく、苦しみ歌うグリーメン

大学に入るまでに合唱経験のある者は男性の場合多くはない。声が出ない、従って自分のパートはどこが適当かが分らない。譜が読めない。耳が慣れていないので自分の出している声为正しく合っているかどうかの判断ができない。パートリーダーや学生指揮者にドナられても、どう違っていてどう直せば良いのか皆目見当がつかない。入部した事が悔まれる新学期の日々……。

と、こう書いてくるとずい分減茶苦茶なグループだ、と思われるかも知れないが、こんな事を四半世紀もくり返してくるといつの間にかグリークラブらしい音が出来てくる。そこらあたりを顧問の鶴田教授はご存じて、今年はヴェテラン作曲家の佐藤敏直氏に新作を委嘱して下さった。当然のことながら、かなりの苦勞の末いよいよここに初演を行なうことになった。折角の力作を良い演奏にしたい、と願うこと切なる思いで一杯だ。特に四年生、この音楽の響きを心に刻み、間もなく巣立って行く。こんどは社会人の新人として皆目見当のつかないきびしい世の中に突入して行く。祈好演・熱唱。

専修大学グリークラブ常任指揮者 押塚登貴夫



### メンバーの自立を願って

1年の集大成である定期演奏会がいつものように開催できることを、学生共々喜んでおります。

グリークラブの年間練習スケジュールは、思ったよりも短いものです。特に今年は大きな行事が定演を含めて3つ（三大学ジョイントコンサート、山形県温海町での小中学校・PTAのコンサート、第24回定演）もあり、忙しくも充実した年でした。

けれども1年を通じて最も重要かつ意義深い定期演奏会に注ぎ込む練習時間は本当に短いものです。従って効率的練習が望まれます。

25年の歴史を考え、グリークラブの一層の飛躍が望まれます。それはメンバー一人ひとりの〈完全な自立〉だと思います。全体力に加えて個人力を高めることが必要で、具体的には、メンバー一人ひとりが読譜、発声、曲の解釈、ハーモニー等に自立して取り組む姿勢です。定められた練習日は個人の日頃の成果を持ち寄り、融合させより大きなものを創り出すためという認識が必要と思います。

この課題を克服した時、専大グリーは皆様のご期待に添える充実した合唱団に成長することと信じます。

専修大学グリークラブOB会長 北浜敬三



24回定期演奏会おめでとう。クラブが創立されてすでに1/2世紀。合唱がやりたくて数人の学生が集いスタートしたクラブが多くの新入生を迎え、そして毎年卒業生を送り出してまた新しい定演の日を迎える。24回同じ様な歴史のくりかえしである。が24回メンバーは異っているのである。しかし専修グリーの伝統は脈々と受け継いで今日に至っている。9月には久しぶりに生田校舎へ顔を出した。練習場所も20数年前と同じ教室。何曲かを聞いて歌ううちに自分が20数年前のタイムカプセルに入った様な気持になってしまった。そんな想いで今日の演奏会に全国からOBが集ってくる。クラブ創立時にはこの世に誕生していなかった学生と、顔に頭髪に年輪を感じさせ、そして若干出かかったおなかを気にしながら舞台に立つOBとのバランスも興味深いものである。専修大学グリークラブのすべてがこの日に集約されるであろう。



《こんやの曲目をめぐって》

校歌によるオープニングのあと、5つのユニゾンで始められる。1. THE NOBLE DUKE OF YORK 2. THE KEEPER 3. DOWN IN DEMERARA 4. THE COBBLER AND THE CROW 5. SKIP TO MY LOU 1~3はイギリス、4と5はアメリカの伝統的民謡である。詞の内容からみてこれらのほとんどはプレイ・ソング——ジェスチャーのついた遊び歌にちがいない。なぜ、子供の歌う唱歌など？と訝(いぶか)るむきも少くないと思う。ひとことではいへば、グリーンメンのためのスタディであり、更にホンネを言えば、最近わが国アマチュア合唱界を席卷するかのやたらムズカシイ作品ばやりの風潮に対するアンチテーゼである、と言ってもよい。いずれにせよ、易しい歌を伸びのびと歌う楽しみをステージも客席も味わいたい。続く**名曲集**はわがグリークラブの伝統であるオーソドックスへのアプローチ、福永陽一郎さんや秋山日出夫さんのアルバムから選んで歌う。

3つめのステージはグリーグ(Edvard H Grieg 1843~1907 ノルウェー)のノルウェー民謡による男声合唱アルバムからの4曲、詩はいずれも植村敏夫による。1. のらくら者、は気の弱い若者の恋物語。2. 若者オーレ、は御殿づとめの若者と故郷の恋人の話。3. 踊りの歌、はノルウェー舞曲を合唱で。4. 子供の歌、はノルウェーに住む猫が冬のあまりの寒さに耐えかむて、デンマークへ行って木靴を買おう、と歌う。

休憩のあと、？ ？ ？ は例の**プレイソング**、「自粛ムード」の秋に演奏すべきかどうか大分迷ったようだが、わたしとしては「それなりに慮んばかりつつ歌え」と示唆しておいたもののいささか気にかかる。続く**OB**のステージは、年々その勢力を増していく卒業生諸氏の今年の出来栄えやいかに……。

フィナーレは委嘱新作、佐藤敏直氏の高村光太郎の詩による書き下ろし。佐藤先生は岡本の畏友であり、顧問鶴田教授のブラザー・イン・ロウでもいらっしゃる我が国屈指のヴェテラン作曲家。1. 森のゴリラ、2. 傷をなめる獅子、3. ぼろぼろな駝鳥、4. マント狒狒、の4曲からなる。専大グリーの実力をかなり過大に評価して下さったものらしく、こんやの初演を迎えるまで相当に激しい練習が要求された。いつの場合にもそうなのだが、新作を初めて音にする責任の大きさ重さを思い識らされている。別掲の詩とともに味わっていただきたいと思う。まずまずの出来であれば、演奏後佐藤先生をステージにお迎えして感謝を捧げるとともに聴衆の皆様にもご紹介したいと思っている。

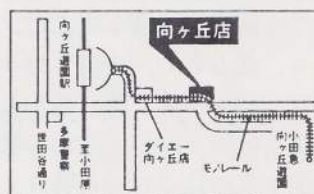
ともあれ、ことしのコンサートはこの「猛獣篇より」で頭の中が一杯のグリーンメンである。熱唱、好演を祈ってやまない。

(岡本 記)

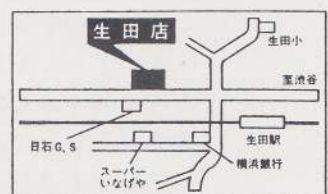
バイクのことなら全てお任せ下さい

- 新車販売
- 車検整備
- 一般修理
- 保険業務一式

株式会社 **エトピリト**



■向ヶ丘店  
☎044(900)2929



■生田店  
☎044(951)1919

# 創立25周年記念委嘱作品「猛獣篇より」

作詞 高村光太郎 作曲 佐藤敏直



佐藤敏直  
(作曲家)

## プロフィール

1936年、山形県鶴岡市に生る。1957～62年、清瀬保二に作曲を師事。1959年、第34回音楽コンクール作曲部門に入選。1961年、慶応義塾大学工学部電気工学科卒業。現在、我国で最も伝統のある作曲家の団体「日本現代音楽協会」書記長、「日本音楽コンクール」作曲部門審査員。

## 主な作品

管弦楽のための「山唄」、管弦楽のための「哀歌」、2提のヴァイオリンのための「天空によせる歌謡」(音楽之友社刊)、フルートとピアノのための「遠い国々への伝言」、独奏チェロのための「バンドリンの唄」(アカデミア出版刊)、四手のための「ディヴェルティメント」(音楽之友社刊)、「ピアノ淡彩画帖」、ピアノ曲集「こどもは遊ぶ」(音楽之友社刊)、ピアノ曲集「小さなパレット」(カワイ出版刊)、歌曲「窓・草野心平詩」、歌曲「祈り・更科源藏詩」、混声合唱組曲「旅の途の風に」(カワイ出版刊)、邦楽器合奏のための「ディヴェルティメント」(全音楽譜出版刊)、独奏尺八のための「片足鳥居の映像」(全音楽譜出版刊)のほか多数。

## 高村光太郎・草野心平 そして私

私の手元に一冊の赤い表紙の詩集がある。赤い表紙と言ってもそれは赤い色のラシャ紙であり、詩集と言っても、中の文字は全部ガリ版による手書きの騰寫版印刷で、ザラ紙の袋とじである。

奥付には「1962年4月2日発行・著者高村光太郎・鐵筆草野心平・250部限定・定價四〇〇円・発行所歷程社」などと記されている。

「猛獣篇」と書かれた表紙の大きな筆文字と、中の詩文は、すべて草野心平氏が書いたもので、これが猛獣篇全15篇をまとめた初版本であった。

実はこの貴重な詩集は私のものではない。私の妹で、諸君のグリークラブの部長である鶴田教授夫人が貸してくれたものである。

高村光太郎の「智恵子抄」などを読むと、詩人の心なのか彫刻家の眼なのか、それとも夫婦愛なのか私にはその世界があまりにも想像を超えていて俄かに感動し難いけれど、この猛獣篇は素直に読める。

光太郎の七周忌の霊前に花束代りに捧げたいと、小学校の低い子供机でガリ切りをした草野心平は、光太郎の高弟であり、私の好きな詩人である。事実私は「窓」「ベーリング・ファンタジー」「日本海」などを歌曲に作曲したし、合唱のためにも幾つか書いた。

その草野心平筆跡によるこの詩集に接したことの驚きと喜びも手伝って、以前あまり気づかなかった光太郎の凄さのようなものを改めて観ることが出来た。

猛獣篇は、大正の末から昭和初頭にかけて書かれたが、その後しばらく中断して昭和12・13年頃にまた再開されている。光太郎ですら動物を借りて物言わねばならなかった時代、というべきか。

私は依頼を受けて今回四つの詩を選んだ。

そのどれにもある、逞しさや、皮肉と怒り、哄笑、そして悲しみは、今に生きる私達にも充分通ずるものだ。一見平和で物の豊かなこの時代にこの詩を通じて一音楽人としての発言を試みようと思ったのが作曲の動機となった。

若い学生諸君の柔かな頭はこれらの響きをどう抱えてくれるだろうか、楽しみである。

そしてまた、指導して下さった岡本仁先生が私と同年生れ、というのも、内心秘かに初演の聴きどころだと思っているのである。

佐藤敏直



# 猛 獣 篇 より 高村光太郎

## 1. 森のゴリラ

岩なす大男、毛もくじやらのゴリラ。  
たちまち身をひるがへせば梢にあり、  
枝から枝へ身を投じ、  
森をゆさぶり風をおこす。  
なぜ人間が彼をねらふのか、  
なぜライフルが

だしぬけに藪から出るのか、  
彼にはさつぱり合點がゆかぬ。  
彼は此の原始林の土着民、  
飢ゑてくひ渴いて飲み、  
疲れてねむり腹をたたいて戯れる。  
それがなぜ悪いのか彼にはわからぬ。  
時々コルクの帽子をかぶった白人の群が  
此の森林に仇しに来る。  
遠まきにして卑怯な狙撃、  
ゴリラは仲間をかざかずうたれた。  
危害にあへば危害をかへす。  
彼は人間をたたきつぶし、  
あぶないライフルを幾本も折つた。  
おれのせゐではないといふ。  
いまだに解せない

此の襲撃を今日もうけて  
岩なす大男毛もくじやらのゴリラは、  
まるで輕業のやうな神出鬼没で  
森の巨木をゆさぶるかへし  
あとはしんとして  
もう何處にも居なくなった。

## 2. 傷をなめる獅子

獅子は傷をなめてゐる。  
どこか知らない  
ぼうぼうたる  
宇宙の底に露出して、  
ぎらぎら、ぎらぎら、ぎらぎら、  
遠近も無い丹砂の海の片隅、  
つんぼのやうな酷熱の  
寂寥の空氣にまもられ、  
子午線下の砦、  
とつこつたる岩角の上にどさりとねて、  
獅子は傷をなめてゐる。

そのたてがみはヤアエのびん髪、  
巨大な額は無敵の紋章、  
速力そのものの四肢胴體を今は休めて、  
静かなリズムに繰返し、繰返し、  
美しくも逞しい左の肩をなめてゐる。

獅子はもう忘れてゐる、  
人間の執念ぶかい邪智の深さを。  
あの極樂鳥のむれ遊ぶ泉のほとり  
神の領たる常緑のオアシスに、  
水の誘惑を神から盗んで、  
きたならしくもそつと仕かけた  
卑怯な、黒い、銅鐵のわなを。

肩にくひこんだ金屬の齒を肉  
肉ごともしりすてた獅子はかう然とした。  
憤怒と、侮蔑と、憫笑と、自尊とを含んだ  
ただ一こゑの叫は

平和な椰子の林を震撼させた。  
さうして獅子は百里を走つた。

今はただたのしく傷をなめてゐる。  
どこか知らない  
ぼうぼうたる  
つんぼのやうな孤獨の中、  
道にはぐれても絶えて懸念の無い  
やさしい牝獅子の歸りを待ちながら、  
自由と潤歩との外何も知らない、  
勇氣と潔白との外何も持たない、  
未來と光との外何も見ない、  
いつでも新らしい、いつでもうぶな魂を  
寂寥の空氣に時折訪れる  
目もはるかな宇宙の薰風にふきさらして、  
獅子は傷をなめてゐる。

## 3. ぼろぼろな駝鳥

何が面白くて駝鳥を飼ふのだ。  
動物園の四坪半のぬかるみの中では、  
脚が大股過ぎるぢやないか。  
頸があんまり長過ぎるぢやないか。  
雪の降る國にこれでは羽がぼろぼろ過ぎるぢやないか。  
腹がへるから堅パンも食ふだらうが、  
駝鳥の眼は遠くばかり見てゐるぢやないか。  
身も世もない様に燃えてゐるぢやないか。  
瑠璃色の風が今にも吹いて來るのを待ちかまへてゐるぢやないか。  
あの小さな素朴な頭が無邊大の夢で逆まいてゐるぢやないか。  
これはもう駝鳥ぢやないぢやないか。  
人間よ、  
もう止せ、こんな事は。

## 4. マント狒狒

檻の中のマント狒狒は瞋恚にくるふ。  
怒ることに眼くらみ  
憤ることに我を忘れる。  
尖つた鼻と逆立つ糞毛とまつかな尻とを誰に恥ぢよう。  
檻をゆさぶり鐵に噛みつきひとり荒れて  
疲れを知らぬ永遠の業火。  
物くふことにみづからを罵り、  
情事はただ異性虐殺。  
笑はうとして怒號し  
泣かうとして叫喚する。。  
鬱血の胸ぐるしさに身をふるはせ、  
なんともかとも裂けはじける内の力に  
ああマント狒狒はきやらけんだ阿修羅となる。  
決して馴れず、  
決して脱落せず、  
此世に絶えず目をみはつて  
彼はただ怒る、怒る。



常任指揮者 岡本 仁 じん

国立音楽大学卒業。

東京交響楽団を指揮してデビュー。その後、日本フィル、東フィルをはじめ、多くのオーケストラを指揮し、そのスケールの大きさや、繊細なハーモニー感で、聴くものに強い説得力を与え、高い評価を得た。

現在、フリーの指揮者として活躍中。また、「とうきょうエキコン」の音楽監督として、企画運営にあたり、自らもしばしば出演し、全国に知られている。

先生は、昭和39年より、我々専大グリーを指導してくださっており、「歌う喜び」をモットーとされています。それゆえ、先生の練習は、機知に富み、あるいはユーモアあふれる話術で我々を引きつけ、まさに、楽しみながら音楽を作り上げてしまうのです。

さて、今宵のステージでは、先生の華麗なるタクトさばきに、どうぞご注目あれ。皆様様の心を引きつけ、慮にすることまぢがいなしです。

常任指揮者 押塚登貴夫



国立音楽大学卒業。

音楽理論、作曲法などを岡本敏明、小山章三、岡本仁の諸氏に学ぶ。現在、日本レクリエーション協会に勤務し、社会教育分野での音楽指導などの社会活動に取り組み、その持ち前のあふれんばかりのバイタリティーで、日本国内のみならず、海外にまでも駆け廻っております。この夏、我々が、山形で演奏会を開くことができたのも、先生のご尽力のおかげです。

先生には、昭和40年より、ご指導をお願いしており、その指導は、厳しくも、きどらないものであり、なかなか上達しない我々を、根気よくご指導してくださいませ。また、先生は、お酒とお新香をこよなく愛し、合宿のお酒の席では、お酒とお新香を囲んで、男の哲学ともいふべき話題で、我々と接して下さいます。

今宵は、先生の指先から出される指令と我々の演奏を、心おきなくお楽しみ下さい。

ヴォイス・トレーナー 渡辺多津彦



国立音楽大学声楽科卒業。同専攻科修了。

波多野靖祐、矢田部勤吉、大熊文子の各氏に師事。現在、二期会会員、東京歌劇場同人として活躍中。また、母校で教鞭をとっている。

先生は、昭和51年より我々専大グリーを指導してくださっています。練習では、先生の情熱や、真面目さがうかがえますが、時折、冗談や、ジェスチャーをまじえながら、我々をリラックスさせてくださり、なごやかな雰囲気の中で、楽しく練習時間が過ぎていくということもしばしばです。また、今年は、山形での演奏会にもご同行していただき、その美声をも披露して頂きました。

練習以外においても、常に我々のことを考えてくださり、相談事やアドバイス等、気軽に接してくださいませ。先生は、発声のみならず、まさに、あらゆる面においての、よきアドバイザーといった存在であります。

ピアニスト 沼沢 広子



国立音楽大学音楽科卒業。

ピアノを藤原弘江氏、音楽理論、伴奏法を岡本仁氏に学ぶ。先生の卒業式の翌日より、我々専大グリーの専任ピアニストとして迎える。

先生は、男だけしかいない専大グリーにとっては、まさに貴重な存在です。また、料理が大変お上手で、先生のお宅へお邪魔すると、いつも手作りのお料理やお菓子をごちそうしてくださいませ。当然ながら、お宅へお邪魔した部員をうらやむ部員も後をたぢません。

また、スポーツの方も幅広くこなされ、テニス、ゴルフ、ボウリング等々、腕を磨いているそうで、これより一層美しさの方にも磨きがかかるのではないのでしょうか。

岡本先生、押塚先生、渡辺先生との息もピッタリ。時には繊細で、時には力強くダイナミックな伴奏は、今宵も会場の皆様を、きつと魅了することでしょう。

学生指揮者 門馬 啓一



神奈川県立多摩高校卒業、現在専修大学法学部法律学科3年在学中。

高校時代より合唱部で活躍していた彼は、大学へ入学したと同時にグリークラブへ入部し、1年の頃より、その才能を存分に発揮した。今年の6月、東京理科大、愛知学院大とのジョイントコンサートで学生指揮者としてデビュー、好評を得た。

彼の合唱に取り組む姿勢は大変積極的で、普段は大変落ち着いている彼だが、合唱になると人が変わったように我々グリーメンを厳しく指導する。そんな彼の合唱に対する熱意に、我々グリーメンは頭の下がる思いである。が、しかし、そんな彼も、女性アイドル歌手のN森A菜のファンであり、「人は見かけによらぬ」とは、正に彼のことを言ったものであると思う。

さて、今宵彼は、わがまま勝手のグリーメン達を、1つのハーモニーにまとめ上げてくれるであろう。彼のタクトに乞う御期待！

## 【グリー】 glee [英]

18世紀イギリスの世俗合唱曲の1ジャンル。男声合唱団の名称として使われるグリー・クラブ glee club はこれに由来している。グリーの語は原義的には「楽しみ」「気晴し」などであり、余興を含む音楽の催しものと関連があるとされるが、必ずしも陽気な曲ばかりではない。特徴として、(1)3声部以上の無伴奏合唱曲であること、(2)男声で歌われ、最上声部はカウンター・テナーであること、(3)ホモフォニックで、短い多くの楽節からなること、(4)歌詞の内容はキャッチとは対照的にまじめで健全であること、などが挙げられる。バーニーの〈音楽史〉(1776~89)は次のように記している。「グリーとは楽しく陽気な題材による3声部以上の歌曲で、全声部が同時に開始して同時に終わり、かつ同じ言葉を歌う。もしフーガや模倣が用いられて単純な対位法よりも人工的な作品であれば、むしろマドリガルに近いというほうが妥当というべきであろう」。

グリーという言葉は14世紀のチョーサーの詩にすでにみられ、15世紀のキャロルの1節にも用いられているが、曲種名となるのは17世紀中ごろ以降である。早い例にJ. プレーフォードが1652年に刊行した〈エアとダイアローグ選集 Select Musically Ayres and Dialogues〉があり、チャールズ・コールマン Charles Coleman (父、?~1664)、ジョン・ウィルソン (1595~1674) John Wilsonの短い合唱曲がグリーと称されている。18世紀中ごろには、種々の作品がグリーという名前と呼ばれた。ヘーズ William Hayes (1705~77)は1765年刊行の曲集の中でパーセルの〈アーサー王 King Arthur〉の中の独唱曲を合唱曲に編曲したものなどをグリーと名付け、さらにウォーレン Edmund Thomas Warren (?~1794)は〈キャッチ・カノン・グリー集 A Collection of Catches, Canons and Glee〉(1763~94)の中でイギリス・マドリガルの再版をグリーと呼んでいる。17~18世紀には、オリジナルな作品から、独唱曲の合唱用編曲や、オペラの中の合唱曲から管弦楽を削除したものまで種々の楽曲がグリーの名で呼ばれた。その他の代表的な作曲家としてB.クック、ウェップ父子などがある。

(「音楽大辞典」平凡社より)

## 【グリー・クラブ】

グリー・クラブ The Glee Club とはもともと、1787年12月22日、ロンドンのニューカスル・コーヒー・ハウスを定期会場として結成された合唱クラブの名である。ただし会場はその後何度か変わった。この団体は1783年に学者や知識人のグループがロンドンの聖パウロ教区にあるロバート・スミス Robert Smith 宅で夕食後にモテット、マドリガル、グリー、カノンなどを歌って楽しんだことにはじまっている。当初の会員数は男性21人で、うち13人はアマチュアの正会員、残り8人は professional members と呼ばれる専門音楽家である。その中にはウェップ父子、コールコット John Wall Callcott (1766~1821)、バートルマン James Bartleman (1769~1821) といった当時の一流音楽家の名が見いだされる。会合は夕食の後、ウェップ (父) の〈栄光のアポロン Glorious Apollo〉(1790) で開始するのが慣例で、まず各声部3人ずつで歌い、つづいて全員で合唱する。その後は会長、副会長、指揮者、副指揮者、セクレタリー(役員または全会員順番制)の順で各自が好むグリーを指定して歌い、次いで会員が年長順に曲を指定する。また夕食直後の開会前にバードのカノン〈ノン・ノービス Non nobis〉と、クックの〈アーメン・カノン〉を歌う習慣もあった。

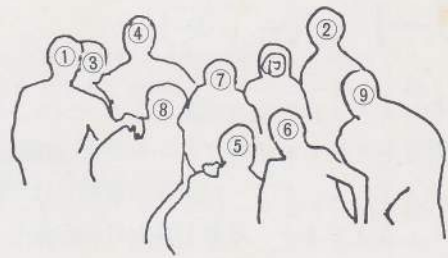
グリー・クラブは1761年以来つづけられてきた「貴族とジェントルマンのキャッチ・クラブ」の卑猥で退廃的なあり方に対する反動としておこった。他方、エリザベス朝以来のマドリガル協会 Madrigal Society との関連もみとめられ、ウィリアム・ビール William Beale (1784~1854) の〈目覚めよ、美の女神 Awake, Sweet Muse〉(1813)などはホモフォニックな書法にイギリス・マドリガルの要素を同化した典型的な作品となっている。このクラブは1857年に解散したが、アマチュアによる音楽実践の運動として音楽史上で重要な位置を占め、のちに同名の男声合唱団を輩出させることにもなった。

アメリカでは大学のグリー・クラブが盛んであるが、かつてはマンドリンやバンジョーの演奏をまじえ、ポピュラーな曲目を含んでいたものを、1920年ごろハーヴァード・グリー・クラブ Harvard Glee Club が先立ちとなって改革運動をおこし、より質の高い男声合唱団を志向するようになった。今日では、「グリー・クラブ」といっても必ずしも曲種としてのグリーとは結びつかず、単に男声合唱団の名となっている。日本でも1899年(明治32)創立の関西学院グリークラブなど例は少なくない。

(「音楽大辞典」平凡社より)



## TOP TENOR



- ①齊藤貴義(経4) 石橋 ②平野明広(営4) 直江津市  
 ③赤迫和雄(法3) 攻玉社 ④阿久津宏之(経3) 今  
 ⑤岡野直樹(経3) 城北埼玉 ⑥押目大助(経3) 日野台吉  
 ⑦下羽昌明(経2) 新城 ⑧高橋一輝(法2) 住  
 ⑨柳田周治(法2) 熊本北 ⑩春日部勝(経1) 福島東

## TOP TENOR

『十人十色～それぞれのひととき』

### 1. 第2三国荘23号

部屋で鏡を覗いている、アキヒロ。鼻毛が飛び出ている。  
**アキヒロ** 「(ちょっと苦笑いしながら) まいったなあ」  
 卓上の爪切りを手に取る。小鼻にそえる。(間) 鈍い衝撃音。  
 飛び散る鮮血。鼻をおさえるアキヒロ。

### 2. 代々木上原駅

夜。人気の無いガード下。バイト先から帰宅途中のタカヨシ。  
 あたりを見回している。納得したかの様にうなずき——。突然ガ  
 ード下に響き渡る頭声。声と共に立ち去るタカヨシ。歌声、フェ  
 ード・アウト。再び人気の無いガード下。静寂。

### 3. 練習後の夜道

生田の坂を疲れきった面持で下りてくるグリーンメン。その中にヨ  
 シオ。暗がりの道路脇に猫が1匹うずくまっている。  
**ヨシオ** 「ニャン、ニャン。ニャン、ニャン。(と、言いながら猫  
 に近づいてゆく)」  
 警戒する猫。ヨシオ1人残し、先に行くグリーンメン。猫と戯れる  
 ヨシオ。音楽——〈禁じられた遊び〉静かに入って。

### 4. 河合荘203号室

テレビ。熱心に見入るヒロユキ。画面にはビデオに録った、早見  
 優の幼児向け英語番組。壁に早見優のカレンダー。  
**ヒロユキ** 「(早見優の歌にあわせて) ABCDEFG!」  
 ビデオが終る。頭を出す。又、歌いだす。(繰り返す)

### 5. 部 室

昼休み。ダイスケ。近くに数人の後輩。  
**ダイスケ** 「(熱っぽく) 俺は「歌」が好きだ!!」  
 数時間後、なぜか練習場にはいないダイスケ。

### 6. JOINT CONCERTの客席

気持ち良さそうに歌っているマサアキを見て。  
**客1** 「おやあ? 飛びながら歌っている」  
**客2** 「Sing & Dance」  
**客3** 「体でスウィングのリズムを表現しているのだな」

### 7. 寝台特急「北斗星」上り列車車中

時計はAM10:00、1人旅の帰り路。カズキは1人吐き気と戦っ  
 ている。顔面蒼白。イメージ(インサート)——利尻島、札幌の  
 街並、洞爺湖、昭和新山。突然、一切の音消える。WCに駆け込  
 むカズキ。(長い間) 音楽——美しい旋律で入る。

### 8. 校 門

「熊本県立熊本北高等学校」の文字。その校門から、しよげて歩  
 いてくるシュウジ。かなりショックな様子。  
**シュウジ** 「(遠くをみつめる様な目で)——俺が昔、所属してい  
 た混声合唱団は(間) 女声合唱団になっちゃったのか」  
 音楽——静かに流れこむ演歌。

### 9. レンタルビデオショップ

スーツと扉が開き、マサルが入ってくる。額に光る汗。奥まで入  
 ってゆく。ためらい。(間) 引き返し、ヒット中の洋画を手取る。  
**店員** 「(ニコニコ) ありがとうございます」  
 マサル、うつ向き加減に出てきて、ふり返る。その視線——。

以上9名に、パートリーダーの私を含めて10名がトップのオール  
 スターキャストです。今年のトップは珍しく音色が揃っていて音取  
 りが早い!! (これだけで単純に喜んでしまう) パート練習も随  
 分楽させてもらいました。と、いう訳で皆さん、又あとでロビーで  
 お会いしましょう。  
 (ナオキ)

ラーメン・カレー・パン・牛乳・お菓子

かって「究極の味」という  
 言葉が流行った。  
 僕はそれを捜し求めた。  
 そして、今ようやく  
 それを見つけた。

# はまだ

生田専修大学正門前  
 ☎044(911)2588

## SECOND TENOR



- ①伊藤弘己(営4) 埼玉栄東 ②遠藤晴彦(法4) 富士宮西
- ③出島大(法4) 金沢西 ④井坂博宣(商3) 市川北
- ⑤金木文昭(法3) 伊豆中央 ⑥村上光人(法3) 西条
- ⑦布村豊国(商2) 富山商 ⑧見田仁志(商2) 大和南
- ⑨渡辺久訓(法2) 清水東 ⑩豊田智紀(文1) 久居
- ⑪村澤孝良(商1) 袋井



## SECOND TENOR

皆様、今晚は、SECOND TENORです。うちのクラブのSECONDには、楽しい人がたくさんいます。メンバーを紹介する前に、一言いっておきますと、当クラブのセカンドは、とっても明るくノリが良くて、あたたかいパートだと思います。しかし、合唱にいたっては、まだまだ荒けずりで、時々、学生指揮や、他のパートに、おこられたりします。メンバー1人1人には、高い理想と希望がある(あると信じたい)のだが、本来理想と現実とは似て非なるものであるからして、理想が現実と追いつかないことは、まあある。しかし、この1年間、培ってきたものを十分に発揮し、見せつける機会が今ここにある。これをお読みになった方は、一皮むけたセカンドに注目していただきたい。

それでは、パート員の紹介といきましょう。まず4年生から、Iさん。まさに彼は、元パートリーダーで、自宅の庭に自分だけの別棟の家があるという大宮の若殿だ。

つぎにEさん。彼は、ローラースケートが大好きでよく人を誘い、グリーの光ゲンジと呼ばれている。気力・体力ともグリーNo.1だ。

つぎにDさん。頭脳明晰で大食家、はやてのようにやって来て、はやてのように去ってゆく、まさに月光仮面のような人である。

次に、3年生に行ってみよう。

まずIさん、この人は、セカンドのお調子ものまさにムードメーカーといっても過言ではない。教習所に通っ

て6ヶ月で免許をとれなくて、すべてがパーになったという珍しい人物である。

Kさん。現涉外である。性格温厚、みんなからは金ちゃん(の愛称で親しまれている。金もあって車もあるが、なぜか女の子にモテない。(そんなことはない。本人談。)

Mさん、一見すると、恐そうなのだが、セカンド唯一、過敏な神経のもちぬし、やる事が非常にマメである。

さて、2年生。まずN君。セカンドで一番の熱血児、まじめなのだが、たまにボケをみせてくれるひょうきんな男である。

次にW君。清水東だ文句あるか。仕事に対しては、常にクールである。愛車のVTでそこらへんをカットんでいるバイク野郎である。

そして私は、M君。とくにない。そこらへんにいる、平凡な大学2年生だ。

そして最後に1年だ。まずT君。彼は、文学部だけあって、愛を語らせたら日本一。サングラスをかけ、ひげをつけたらショーケンに似ている。そして最後の最後、M君だ。彼はいつも口調がおびえている。グリーのマスコットボーイにも使えるほどに可愛い顔だちをしている。しかし、一度卓球となると、目の色が変わり、スマッシュの嵐だ。

とまあこんな奴らですが、どうぞ最後まで、鑑賞してやって下さい。(エサを与えないように。)

呑み処  
食べ処

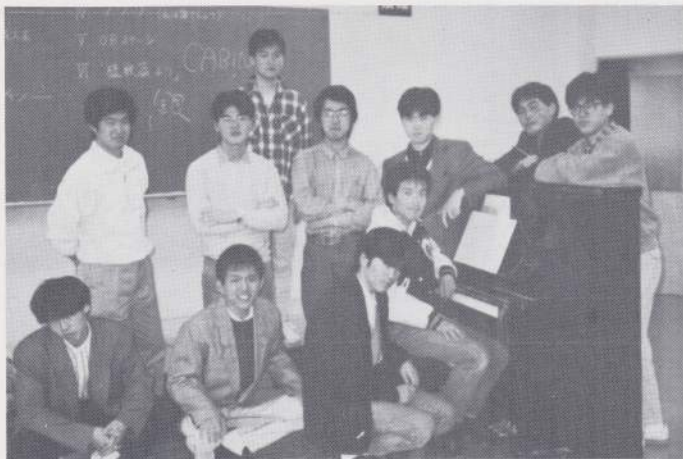
か じ や  
鐵 治 屋

(呑兵衛改め)

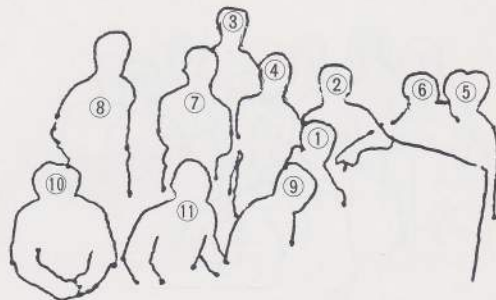
世田谷区経堂 1-19-12  
遠州ビル 2F  
電話 439-1014

コンパ 御宴会に御利用下さい  
50名様まで承ります

営業時間 PM.5:00~AM.4:00



## BARITONE



- ①大瀧善久(法4)掛川西 ②梶川完之(法4)大和南  
 ③山口雅之(法4)長野東 ④高橋徹(経3)札幌西  
 ⑤田中謙一(経3)別府羽室台 ⑥門馬啓一(法3)多摩  
 ⑦江田勝衛(文2)下妻第一 ⑧浜倉良雄(管2)板橋  
 ⑨小橋良行(法1)郡山 ⑩宋国憲(法1)長野吉田  
 ⑪森一央(商1)古河第三

## BARITONE

### 『ザ・バリトン度チェック』

これは楽しみながら、バリトンを理解しちやおうという企画です。(つまんなかったらゴメンナサイと。) Yes、Noで答えてみて下さい。

- ①単調な作業に耐える自信がある。  
(バリトンの音とりは単調なのだ。)
- ②真面目な顔でギャグを言える。  
(E田、H倉、T中)
- ③球技を苦手としている。  
(パート対抗で試合するといつも大差で負けるのだ。)
- ④体力には自信がある方だ。
- ⑤カラオケが、大好き!  
(しかし、音域の狭い我々はキーの合う曲が少ない。)
- ⑥こ一番に弱い。  
(バリトン最大の弱点。)
- ⑦お金を貸しても催足できない。
- ⑧わがままを、言わない。
- ⑨ほどほどのロマンティストであり、熱血漢である。  
(本当かな?)
- ⑩彼女(彼)が、いても誰にも話さないような性格。  
Yesが10個の人………不吉なことが、起きなければ…。  
Yesが7~9個の人………相性びったんこ。  
Yesが4~6個の人………幸せな毎日、送れそうです。

Yesが0~3個の人………あなたは、まさか、あの個性が強くわがまと言われるTOP・TENORでは?

それでは、バリ・メンの紹介といきましょう。まずは1年生。1年なのにもう一本筋の通っているところのある、期待のルーキー達です。信長を尊敬しているという、1年生にして早くもカリスマ性発揮か!のK橋氏。中学高校とサッカー一筋、歌声は長渕剛風なS氏。カラオケで鍛えられた声で今日は歌ってくれるでしょうのM氏。続くは中堅の2年生。中々深みのある彼ら。話したすともう止められない、ギャグのセンスの光るE田氏。これまたどんな事でも話のネタにすることを得意とし、その話術には定評のある、H倉氏。

次は相棒の3年生。理詰めでせめます。がキャッチコピーの凝り性なT橋氏。そして、ついでにこのうわついた文を書いている私、T中。パトリの影武者、ひそかにボーリングのうまいM氏。続きますは、大御所、4年生。大音声の物大ぞろい。(よいしょ!)

昨年度観客動員数1位のO瀧氏。バリトン切っつての色男Y口氏。デモテープも自分で作ってしまう研究熱心なK川氏。

以上11名の熱き思いを内に秘めた男達の歌を、お聴き下さい。

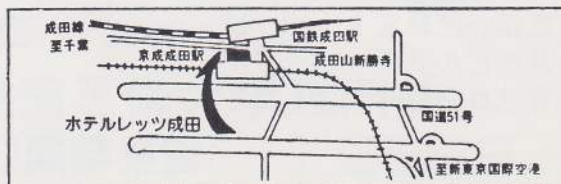


Hotel Let's Narita

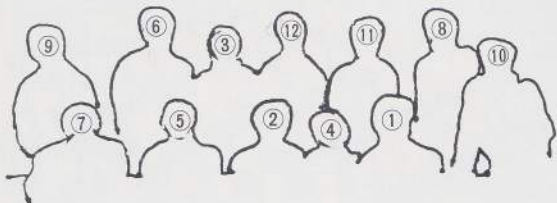
ホテルレッツ成田

ご宿泊 結婚式 ご披露宴 ご宴会 会議 お食事にご利用下さい。

千葉県成田市花崎町818-1 ☎ 0476(23)0222



BASS



- |              |      |             |     |
|--------------|------|-------------|-----|
| ① 椎名邦基 (法4)  | 秋田   | ② 竹田郁 (営4)  | 大磯  |
| ③ 星野公吾 (法4)  | 巻    | ④ 安田亮 (法3)  | 青森  |
| ⑤ 笈川英 (営3)   | 鶴見   | ⑥ 杉山長弘 (法3) | 伊東  |
| ⑦ 湯田隆 (営3)   | 喜多方  | ⑧ 川上剛志 (法2) | 三重  |
| ⑨ 長谷川茂松 (経2) | 富岡西  | ⑩ 前田隆行 (商2) | 崇徳  |
| ⑪ 上岡達明 (経1)  | 千葉敬愛 | ⑫ 高木章裕 (法1) | 墨田川 |



BASS

「12月3日 土曜日」。音響メーカーに勤める社会人2年生の1人のOLは会社の仕事を終え、間もなく退社しようとしているところだった。彼女は溜息をつくと同時に自分の腕時計を見ると、時計の針は既にPM5時を指していた。すると、彼女はすぐさまコートを羽織って街へ繰り出したが、これといった目的や用事もなく、ただ辺りを徘徊しているだけであった。時も経つにつれて、彼女の身も心も吹き荒ぶ風と同様に、より一層寒くなるだけであった。そこに突然、暖かく仄かな明かりが彼女の視線に飛び込み、スルスルッと歩み寄って行った。それは正しく日本都市センターホールであり、看板には「専修大学グリーンクラブ 第24回定期演奏会」と力強く書かれてあった。彼女はいつの間にか赤坂に来ていたのであった。彼女は間髪を入れずにホールの中へ身を振り切るように入って行くと、突然われんばかりの拍手が響いており、彼女自身、私を迎えるべく歓迎の拍手なのであるうかという一種の錯覚に陥った。そして会場の扉を開けると、既に客席はほとんど埋まっており、席を見つけることが困難であった。それでも、何ステージ目かが終り、Intermissionに入った直後だったので、彼女はゆっくり席を探した。漸く、席も見つけ落ち着いて息を整えながら周りの聴衆の表情を眺めていると、私とはまるで別人のような生き生きとした平和的な顔が数え切れないくらいあることに彼女自身気付いた。それは彼女にとって衝撃的なことであり、失い欠けていたものであった。しかし、

彼女は気を取り直して次のステージを期待感を抱き、パンフレットをパラパラとめくることにした。すると丁度、Bassのパート紹介文が開き何気なくそのページを読んでいると、次のようなことが書かれてあった。

《Bass》

「皆さーん、お元気ですかー?」。我々12衆が十人十色のTop、猪突猛進のSecond、暗中模索のBaritone、以上3つの不安定な有機体をしっかり包み込む“全全治全能”のBassです。さて、我がBassは……。

(以下省略)

と書かれてある紹介文を彼女は全て読み終えた。そして数分後には男性的で迫力ある歌声ながらも、繊細優美な演奏が始まっていた。男声合唱を耳にすることが初めての彼女にとってはとても新鮮味が感じられた。それに追討ちを掛けるように、物凄い響きが彼女を圧倒していた。それは言うまでもなく、ステージ右隅に立脚する重低音パワーのBassだった。この時、彼女はなるほどパンフレットの通り今こそ、このホールを支配しているのがBassであり、現在の軽薄短小の時代に生きる世の中の人々を呼び起こすものが、重厚長大に相似する専グリのBassであるということを知ったのであった。時刻はPM8時。1人の女性が演奏中にもかかわらず、ホールを跡にして赤坂の繁華街に消えて行った。笑みを漏らしながら……。

(南都政権)

ご宴会・コンパのご予約はお早目に!

くつきぎの里 庄也

下北沢南口店 414-2367 (小田急線南口2分)

下北沢西口店 413-6081 (井の頭線出口すぐ)

一年の行事

'87年12月5日	第23回定期演奏会	日本都市センター
'88年2月11日	卒団生追出しコンパ	登戸「柏屋」
13日	卒団生追出しボーリング大会	BIG ボウル
3月22日	専修大学卒業式	日本武道館
24日～30日	春期合宿	岩井
4月5日	専修大学入学式にて校歌指導	日本武道館
16日	新歓ボーリング大会	経堂
23日	新歓コンパ	登戸「柏屋」
24日	新歓ソフトボール大会	専大生田校舎
29日～5月1日	新入生強化合宿	代々木オリンピックセンター
7日	武蔵野女子大学ルンビニー合唱団と合同コンパ	新宿
8日	四大学ソフトボール大会	中央大学グランド
14日	鶴見大学女声合唱団と合同コンパ	新宿
28日	十文字学園女子短期大学コールはなみずきと合同コンパ	新宿
6月18日	Joint Concert ～男声合唱「饗宴」～	杉並公会堂
24日	黒門祭に出演	専大生田校舎
9月1日～3日	山形地方演奏会	山形県温海町
4日～8日	夏期合宿	温海町
25日	杉野女子大学コーラル・ダ・ルームと合同コンパ	渋谷
10月8日～9日	シュワッチ・ザ・レーション	都内各所
16日	相模女子大学合唱団と合同コンパ	新宿
18日	秋季ソフトボール大会	宇奈根グランド
29日	秋季ボーリング大会	向ヶ丘遊園ボウル
11月9日～12日	秋期強化合宿	八王子「青年の家」
12月3日	第24回定期演奏会	日本都市センター

贈花 (花束、花かご、鉢物)

ワタ ハナ  
**渡 花**

静岡県清水市南岡町 6 番20号

☎0543-52-1691

今日の舞台を撮影しています。

写真は記憶の財産です。  
お申し込みをお待ちしています。



スタッフテス株 ● テス飯島舞台写真

本社 〒153 東京都目黒区大橋1-6-3 日米商会ビルB1  
☎ 03(463)2405

大阪支社 〒532 大阪市淀川区西中島5-7-25-802 06(300)1891  
福島事務所 〒960 福島市泉字乙天堂9-3 ☎0245(59)0151

# 四大学ジョイントコンサート

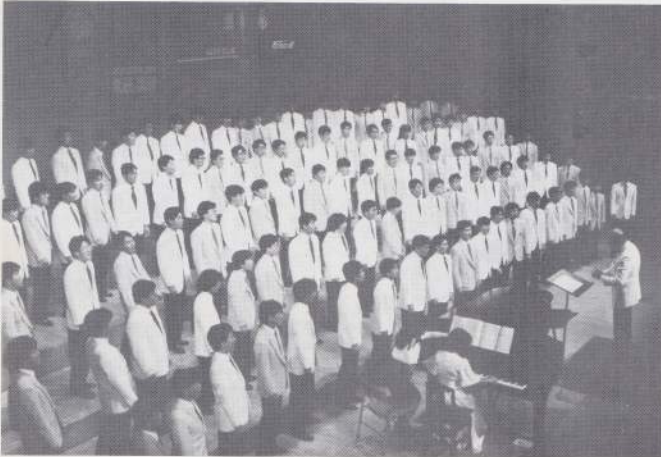
1989年7月1日(土) 板橋文化会館大ホール

愛知学院大学グリークラブ  
福島大学男声合唱団  
東京理科大学グリークラブ  
専修大学グリークラブ

合同演奏 男声合唱組曲「月光とピエロ」



## Joint Concert



総勢130人のステージ。専大グリーにとっては歴史的な1ページを残したジョイント・コンサート。初夏の爽やかな風の吹く中、6月18日、杉並公会堂に愛知学院大学グリークラブ、東京理科大学グリークラブ、そして専修大学グリークラブの三つの精鋭たち!?が集結した。ジョイント慣れしていない我々にとってここまでたどり着くのに様々な試行錯誤の繰り返しだった。(うーん今思うと懐しい日々だ。)本番前夜に初めて三大学が揃って練習をするという網渡り的な日程にもかかわらず、ついにコンサートは始まった。そして最終ステージの合同演奏では他の二

校の白いユニフォームの中にひととき鮮やかというべきか軽薄というべきか我々専大グリーメンのブルーのユニフォームが目立っていた。しかしそれは合同演奏曲「海鳥の詩」をイメージさせるが如く「海」を表わしていたのだらうと思う。(ということで納得して頂きたい。)そして常任指揮者の岡本仁先生の指揮によって130人の歌声が響いた。

打上げも盛り上がり、ジョイント委員は一気飲みへの応酬だったし、全員で歌を歌いながら輪を作って踊り出したりしてすっかりただの酔っぱらいの集団となっていたが、皆ジョイントの成功にホッとした感じと解放感をようやく味わえた満足さが表情に出ている。

そして、その夜都民の皆様の御迷惑を顧みず何十人も男共が新宿の街へ繰り出したのである。しかも愛知学院のグリーメンは前日の夜東京に来て、新宿で夜を明かしたその日の朝に帰ったのである。そのタフさには驚かされると同時に運営の涙ぐましい努力があるのだらうと思った。

我が専大グリーは今年で25年目を向かえるわけだが男声三つのジョイントは初めてである。過去男声では東海大グリーだけであり他は女声とのジョイントのみであった。今年のジョイントは我々グリーメンにとって合唱仲間の輪を広げる先駆けとなってくれると思う。来年は福島大学が加わり規模も大きくなる。きっと今年以上の演奏ができると思うので、期待して欲しい。



## 山形地方演奏会

今年は、山形県温海町にて地元の小、中学生を対象に演奏会を開催する幸運を、当クラブの常任指揮者である、押塚登貴夫先生の御尽力と、渡辺多津彦先生、沼沢広子先生、松本優子先生の御協力により得ることができました。ここ数年の間、隔年に地方への演奏会を持たせて頂き、我々には四年間という限られた時間しかないグリーライフに貴重な1ページを作ることが出来ました。

今年の夏は、あったかどうかわからない夏だったと言われるが、生田校舎への坂を汗をかきかき1週間登り、子供達に満足のいく演奏をして音楽の楽し

さや歌う楽しさ、喜びを感じてもらおうと練習を重ねたのです。

私達を迎えてくれた生徒達を前に立つと、普通のホールの舞台に立つのとは一種異なる緊張感があります。その緊張感を振り払うように、ピアノの行進曲に合わせ、顔は多少こわばりながらも、笑いを浮かべて、オーバーアクション気味に堂々と舞台上がります。

ステージの内容は、主に、子供達と音楽と歌を楽しむという考えから、遊び歌が中心になっています。遊び歌は、専グリの特色の一つとして上げられるもので、毎年の演奏会に一ステージは遊びのステージがあるのですがそれと同じようなことを、子供達を前にして行ないました。

こういうステージには、当然ながら恥ずかしさが先に立つのですが、一つ一つ曲や遊び歌を終えるうちに、一緒に歌い、足踏み鳴らし、手拍子をしている子供達の笑顔に、拍手に、小さな講堂が「歌うよろこび」で大きく膨れていくのを感じるうちに、我々の青いブレザーの肩がどんどん大きくなる思いがしました。

そこには舞台と客席に区切られた音楽とは別の感動があり、私達の精一杯の演奏を子供達ははち切れんばかりの笑顔で応えてくれるこの一体感は何にもかえがたいものでした。

温海町の子供達の夏の思い出に、青いブレザーの私達が居る。このことは、とても素晴らしいと思います。そして、あの笑顔を、いつまでも大切にしていきたいと思うのです。

# 卒団生紹介



伊藤 弘己  
(前 T<sub>2</sub> パートリーダー)

伊藤先輩は、我専修大学グリークラブのムードメーカーであり、伊藤先輩のいる練習場とない練習場では、練習の雰囲気がちがう。生まれ持った美声で僕達をほんろうさせてくれた伊藤先輩は、元セカンド・パートリーダー。そのパー練の楽しかった事、苦しかった事は、ぼくらの脳裏にやきついている。先輩、いつまでもあの陽気さを失なわないでください。では、最後の定演を完全燃焼しましょう。フレーフレー伊藤先輩。

ひとこと  
高2の時の写真なんだぞ〜お。若いだろ！えっ？今と全然変わってないって！ふん、わかったな。いじいじ。



梶川 完之  
(前 書記)

師は、その一見華奢に見える体からは考えつかないほどの行動力を発揮し、さらに師の卓越したセンスを加え、常に新しいグリーの姿を、さらなる技術の向上を、そして、今迄になかったタイプのパンフレット製作を目指して努力して来られました。特にパンフレット及び各種デザイン部門においては、一時代を築かれたと言えるでしょう。そして今夜、そんな師の演ずる「私は誰でしょう」は、大成功間違いなしです。

ひとこと  
いつまでも絶える事なく  
友達でいよう  
今日の日はサヨウナラ  
また会う日まで……



遠藤 晴彦  
(前 副代表)

先輩は、ほんとうに人をアツと驚かせますね。「おれは就職なんて考えていない。フリーアルバイターだ。」と言っておきながら大手証券会社の内定をもらってしまうし、「ほんとうはエアロビクスのインストラクターになりたかったんだ」と、ニコリともせずまじめに言うし……。先輩のガッツある行動は、後輩達に大きな影響を与えました。そのガッツを忘れずに、がんばって下さい。御身体を大切に。

ひとこと  
この写真は私の初恋記念(昭和53年5月12日)に撮った写真です。このころの私は単なるクソガキでしたが、今でも単なるクソガキです。



斉藤 貴義  
(前 渉外マネージャー)

ある時は田原の俊ちゃん、またある時は松本伊代ちゃん、そしてまたある時は少年隊。最近はローラースケートの練習もしているとかいないとか。専大のジャニーズ事務所の先輩は2年間渉外として活躍されました。一見軽そうですが実際軽いです。でも、やる時はやります。合唱に対する熱意もグリーで一、二を争うのではないのでしょうか。そんな先輩の美声を聴けるのもあとわずか。今夜はその美声にお客様と共に私も酔いたいと思います。

ひとこと  
振り返ってみると、22歳になっていた……。そして、「美しさ」について我儘になっている自分に気が付いた。—— 皆んなゴメンネ♡



大瀬 善久  
(前 B<sub>1</sub> パートリーダー)

専グリー切っぴのガッツマン、ガーリック大瀧の異名をもつ氏。去年はパートリーダーとして、持前の声量で音のとれない私達後輩をグイグイ引っ張ってくれました。また先輩は、男気があり後輩思いのせいか、グリーメンからの信望も厚い。(唯、ソフトボールでは頼れませんでしたけど!?) 更にクラブ以外でも、ゼミ・バイト・バイクで各地を廻る等々の活躍ぶり。そのタフさで先輩、今宵は完全燃焼して下さい。

ひとこと  
人生に往復切符はいらない。辛かった事・楽しかった事ももう思い出すまい。でも今日ばかりは旨いビールを飲みながら物思いにふけりたい。



椎名 邦基  
(前 OBマネージャー)

ハーチョイナ、チョイナ、シイナ！ということで先輩ももう卒業なんですすねえ〜。今思うと先輩はまさにグリーきっての伊達男でした。その渋みのあるクールな性格はまさしくベースというパートにふさわしかったです。バットマンのジャンパーを愛用し、ソフトボール大会では常に全速力で、私たち下級生はその闘志あふれる姿に感動しました。OBマネージャーとして活躍された先輩。いつまでもその野性味を失くさないでいて下さい。

ひとこと  
淋しくなんかない。愛するクラブから離れたときに、新しい自分が始まるのだから。

## 専大食堂

各種コンパ等承ります。

神田校舎地下2階  
Tel (03) 262-9800

## 日本料理・結婚式場

# 拍屋

向ヶ丘遊園・登戸駅下車  
川崎市多摩区登戸 2466  
TEL (044) 911-3191

## 学生の憩いの場

登戸書店  
レストラン VIEW  
505  
森永食堂  
3号館地下  
専大生田売店親睦会



竹田 郁  
(前 渉内マネージャー)

かつて甲子園を目指していた先輩は、大学に入ると一転してグリークラブに入部。そして高校時代の経験を多分に生かして2年間渉内マネージャーとして大活躍されました。その真剣に打ち込む姿はグリーの鏡でした。しかし先輩もカラオケとなるとマイクを離さず歌い続けるのです。そして我々に対するスピーチの中において「女性のスカートとスピーチは短い方がいい。」という名(迷)文句を残し、今日最後の舞台に立ちます。皆様、ステージ右端の左門君に注目を!!

ひとこと

グリーで過ごした4年間。いろいろあった4年間。やるだけやった4年間、誰にも何も言わせない。



星野公吾  
(前 B<sub>2</sub>パートリーダー)

いつも私達の背後から肩を叩いて、優しい瞳と朗らかな笑顔で接してくれたのがシュガー星野さんでした。先輩はこの瞳と笑顔を武器(?)に私達グリーメンのみならず、合コンで某女声合唱団を口説きおとしたという噂もチラホラ。

その一方で、持病の腰痛のためしばしば通院なさっているにもかかわらず、ソフトボール大会では勝負強いパッチェング・華麗な守備とで大活躍してしまうというこれまた魔不可思議。しかし、今宵のステージでは持前の重低音で皆さんを魅了することでしょう。

ひとこと

おもちゃ箱をひっくり返したような4年間でした。そのままにしておきたいけど、そろそろかたづけね。



出島 大  
(前 会 計)

大ちゃんは法学部一部学生だ!  
大ちゃんはグリークラブが一番えらい!  
大ちゃんはグリークラブが一番背が高い!  
大ちゃんはセカンドテノールが一番うまい!  
大ちゃんはグリークラブが一番のうわばみだ!  
そんな出島 大さんを私たちは大好きだ!

ひとこと

クラブをやめたいと叫ぶたびに止めてくれた同学年の諸君、どうもありがとう。ほくは君たちの仕打ちを決して忘れないよ。



安田 亮  
(前 学生指揮者)

昨年、一年間我がグリーの学指揮として活躍された先輩は、ピアノ経験を生かし、その豊かな音楽性で、リズム感の悪い私達を引っ張ってってくれました。しかし、いなせな遊び人安田氏のグリー以外の行動は定かたなく、その私生活は謎につつまれていて、実態を知る者は少ない。みなさん、今宵はそんな安田氏の素顔に迫ってみたいと思いませんか。きっと先輩の心がみなさんのもとに届くことでしょう。

ひとこと

悲しみに出会う度、優しさを思い出す…。人は皆一人では生きて行けないものだから…。  
by 卒団するけど卒業しないグリーの汚点



平野明広  
(前 代表・T<sub>1</sub>パートリーダー)

元代表・元 TOPパトリとクラブの重責を果たした先輩、彼程日本酒の様な人というべきか。(氏は、日本酒しか飲めない。)寒い季節になると、体の芯から温めてくれて、度が過ぎれば二日酔いのパンチ。そして、「もう日本酒はやめよう」誓ってはみたものの、又、手を染めてしまう。我々グリーメンは、そんな先輩の明るさ・厳しさ・そして、あの涙を忘れずになりたいと思います。いつまでも、いつまでも日本酒の似合う人でいて下さい。

ひとこと

不器用な私を4年間、支えてくれてありがとう。

This evening is dedicated to YOU.



山口雅之  
(前 渉外マネージャー)

山口さんは、まさに、専グリきってのハッピー男である。どんなに嫌なことでも、楽しそうに実行してしまうのだから不思議です。このような、ハッピーな性格故、某女性団体と強力なコネをもち、数多くのエピソードもあるとか!?さて、これからは、グリークラブとは正反対ともいえる世界に足をふみ入れるわけですが、持ち前の明るさで、大あばれして下さい。

何はともあれ、お疲れ様でした。お元気で!!

ひとこと

私にとって男だけの4年間は貴重でした。来年からはすべての若い女性のため残りの人生をささげます!!

教科書・参考書・文房具  
コピーセンター  
教材その他

ミーティングルームOpen!  
ピアノ・オーディオ有りますのでご利用下さい。

専大図書館前販売店  
専大書房

TEL 044-911-9320

和風そば

天ざる

定食はすべてみそ汁・  
ご飯おかわり自由です

川崎市多摩区登戸2161 (石原ビル)  
Tel 044 (900) 2897

専大生田会館前

ハチク  
淡竹  
専大一番

電話(044)922-8981

## 1988年度 運営委員

代表	赤迫和雄 (法・3年)
副代表	高橋 徹 (経済・3年)
会計	村上光人 (法・3年)
渉外マネージャー	金本文昭 (法・3年) 高橋一輝 (法・2年) 浜倉良雄 (経営・2年) 阿久津宏之 (経済・3年)
渉内マネージャー	笈川 英 (経営・3年)
総務	布村豊国 (商・2年)
書記	渡辺久訓 (法・2年)
OBマネージャー	杉山長弘 (法・3年)

## 1988年度 技術委員

学生指揮者	門馬啓一 (法・3年)
副学生指揮者	下羽昌明 (経済・2年)
パートリーダー	
T1	岡野直樹 (経済・3年)
T2	井坂博宣 (商・3年)
B1	田中謙一 (経済・3年)
B2	湯田 隆 (経営・3年)

### 編集後記

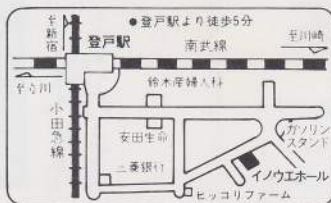
私のワガママを聞いてくれて感謝します。あとは野となれ山となれです。(カモノ長明)

### ごあいさつ

本日は、私共の演奏会にご来場頂き、誠にありがとうございました。今年1年間の様々な想いをこのパンフレットをながめたグリーンメンが心のページ何枚分、自分を見つけられたでしょう。私もこれで3冊のパンフレットを手にしたわけですが、その都度、今までの自分とこれからの自分の一幕を、このパンフレットにこの定演に、想いを寄せます。大学生という最後のレールの上で、このクラブに集い、合唱を通してそれぞれが、夜空の星の様に輝き、いつまでも、この輝きを失いたくないと願うはずです。(歌・先生・先輩・同輩・後輩、そして自分という小さな輝き、大きな輝きを持った様々な形をした星が専修大学グリーンクラブという空を照らし続けています。そんな輝きが来年25回定期演奏会までの道をきつと照らし続けてくれるだろうと、そして専修大学グリーンクラブという空にたくさんの星が輝きあうことだろうと思います。そして、来年も又、このひとときにて、皆様とお会い出来ますことを願っております。

役員一同

# 音楽家のやかた



#### スタジオ

ピアノ・エレクトーンの発表会、合唱の練習等にどうぞ。  
面積/85.05㎡ 収容人員100名  
設備/グランドピアノ G5

#### 音楽教室

ピアノ・エレクトーン・英会話等のレッスンにどうぞ。  
面積/9.72㎡×3室 7.2㎡×3室  
設備/ピアノ(UX)×3台  
エレクトーン×3台  
(FS-30)(D-700)(FE-50)

#### イノウエ・ホール マンション

イノウエ・ホールの2階3階は音楽家専用の賃貸マンションです。全17室共、完全防音され音楽家にとって最適なやかたです。



## イノウエ・ホール

川崎市多摩区登戸3245-1  
☎044<900>1621



# あめゆら

向ヶ丘遊園南口店  
044-933-9944

# KAWAI

## サウンドシティ 渋谷

合唱楽譜より充実!!  
冊数の多い場合は納品も致します

渋谷区神南1-11-5  
(463)7741(代)

・定休日 水曜 営業時間 10:30~19:00



# 経堂ポウル

TEL 03-426-6771(代)

〒156 東京都世田谷区宮坂2-19-5  
経堂駅前

《営業時間》AM 9:00~AM 12:00迄

(土・日・祭日とその前日はAM 2:00迄)

## エルザ館は

宴会のプロです!

結婚披露宴・クラス会  
歓送迎会・誕生会 ……  
あらゆるパーティー承ります。

- ・少人数から80名様まで、5つの個室を自由にお選びください。
- ・全室CDカラオケ、マイク、カセットデッキ完備

新宿区新宿3丁目10-5 TEL 357-9976

風の如くさわやかに!



## 富士屋クリーニング

☎03(930)6548

漬物 卸 製造

# 倉

## 山石食品

営業所：新宿区北新宿1-30-5

TEL 03-369-0376

## ビリヤードルーム パークションクラブ

OPEN PM 12:00~AM 5:00

プレー代金 学 生 550円  
                  会 員 学 生 450円  
会 員 募 集 入 会 金 800円  
特 典      ・プレー代金割引  
                  ・ビリヤード用品20% off  
                  ・会員のみ電話予約受付

場 所 登戸商店街通り ハトヤ2F

TEL 044-911-9893

## 定食の店

# 食堂 津留賀

専大坂下踏切角

いつも美味しい  
生ビールと灘の銘酒

## 灘フロンティア

中央区日本橋3-3-14

271-6345  
275-3087

南房総国定公園 岩井海岸  
甚平鮮魚店直営 音楽設備完備  
民宿旅館

# 甚平

レーザーディスク・カラオケ有り  
JTB協定民宿

川崎洋子

〒299-22  
千葉県安房郡富山町久枝454  
☎ 04705-7-2614・2615

〈おすすめ定食〉  
とんかつ定食 …… 680円  
ジャンボメンチ定食 …… 630円

おかわり自由!!

全品、ご飯・とん汁おかわり自由!!

味・量・値段に、満足できる店です。

- ・生姜焼定食 …… 650円
- ・エビセット定食 …… 630円
- ・串かつ定食 …… 600円
- ・カニコロッケ定食 …… 500円
- ・キスのフライ定食 …… 550円
- ・チキンセット定食 …… 500円
- ・スティック定食 …… 500円



トンカツの店  
**豚珍館**  
Tel. (348)5774

生花・鉢物・園芸資材

# (有)丸栄生花店

川崎市多摩区登戸2091  
☎044-911-3562

小田急線向ヶ丘遊園北口駅前区役所通り

The authentic traditional  
and casual wear

# KYOWA

AMERICAN CLUB

小田急線向ヶ丘遊園駅北口前  
☎922-1726

学生の店

# 末 広

憩いの場

向ヶ丘遊園南口駅前  
☎044-911-2778

mens fashion

# オハワボ

本店 〒211 川崎市中原区小杉町3-441  
☎044(722)2901~2番(服わ一番)  
北口店 南武線・武蔵小杉駅前 小杉会館一階  
☎044(733)0895番

紙・文具・事務用品・印象・コピーサービス

# クロノ文具株式会社

文具卸部 川崎市多摩区菅馬場2-10-10  
TEL 044-944-4533(代)  
FAX 044-944-1864  
専大店 川崎市多摩区東三田2-12-4  
TEL 044-922-6612  
登戸店 川崎市多摩区登戸3465  
TEL 044-922-6548

向ヶ丘遊園駅北口下車浜銀前

鉄道模型の店

# ことぶきや 模型店

電話 (044)91-3387



ヤング  
コミュニケーション  
プラザ

# BIGボウル

ビリヤードポケット5台あります。

営業時間:日・祭日AM8:00~PM10:30  
平日AM9:00~PM10:00

年中無休:駐車場完備  
予約承ります(10レーン迄) 電話受付可

向ヶ丘遊園駅前中和ビル5F  
TEL044-932-1552(代)



理容

# きょう

TEL 044 (922) 1675  
月曜定休  
茅3月・火連休

多摩区三田4-5556

外食産業のトップを行く  
サドヤワイン代理店

# (株)桜井食品

Tel (265) 4841~4

- ファミリースーパーサクライ  
Tel (262)8136
- おしゃれの店 サクライ  
Tel (265)4728
- イタリアン トマト 麴町店  
Tel (265)3375
- 外食産業 食材卸

7円コピー B5・A4  
B4

コピージャスト・神保町

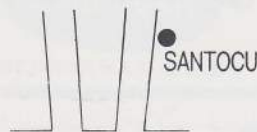
千代田区  
神田神保町1-52  
☎293-9669

早稲田店  
☎203-0195



Jeans Shop

# SANTOCU

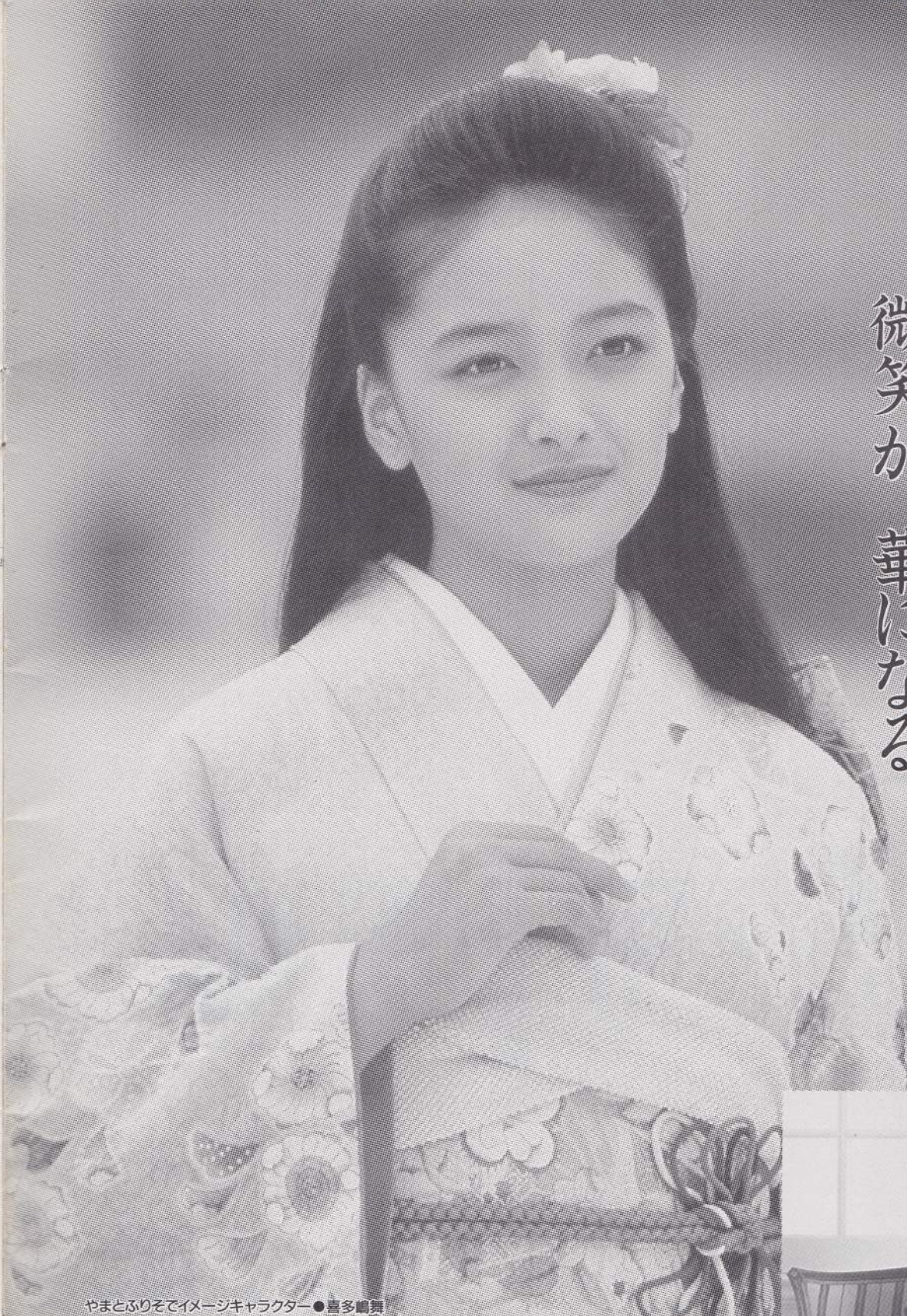


向ヶ丘遊園北口駅前  
☎044(911)5057

コンパ・御宴会・御商談

# 永 花

向ヶ丘遊園駅北口  
☎044(911)3405



微笑が華になる。

# 舞

喜多嶋

やまとふりそでイメージキャラクター●喜多嶋舞



小さなころから  
聞かされていた私の国。  
近いのに遠い、  
私のがれ。日本。  
いま舞は、  
日本をまどっています。  
長い長い歴史を、  
やまとのきもので  
感じています。



一輪の花から始まる恋もある。  
贈りもの、新時代。

# GIFTING

贈る人のあたたかさが伝わる。  
その人らしい心づかいとアイデアを感じる。  
そんなプレゼントや新しい贈り方を、  
いま松屋では「ギフティング」を合言葉に全館でご紹介中です。  
6階ギフティングスタジオは、その中心基地。  
贈りものの新しいアイデアのご紹介と手配を承るほか、  
松屋内外のスタッフがあなたにあわせたプランづくりをいたします。  
贈りもの選びやパッケージのご相談、ユニークな贈り方のことなど、  
贈りものことなら何でもお気軽にご利用ください。  
6階ギフティングスタジオ

松屋銀座＝火曜定休・〒104 東京都中央区銀座3-6-1・電話(03)567-1211 大代表

# MATSUYA GINZA